

事項	サイレージ用トウモロコシの奨励品種「北交65号（系統名北交65号）」の特性		
ねらい	本県に適するサイレージ用トウモロコシの品種を選定するため、流通品種の生育特性及び収量性を検討した結果、平成19年に「北交65号（系統名北交65号）」が既存の奨励品種と比較して同程度の収量性を示し、耐病性に優れていることが明らかとなり、平成24年から種子が販売されていることから奨励品種として普及に移す。		
普及する内容	<p>1 来歴</p> <p>国内で育成されたデント種×フリント種の単交雑一代雑種であり、平成24年からタキイ種苗株式会社が販売している。</p> <p>2 主な特性（標準品種「パイオニア106日（系統名36B08）」との対比）</p> <p>（1）初期生育は同程度で良好である。</p> <p>（2）生育日数は3日同程度遅い早生品種である。</p> <p>（3）倒伏の発生はやや多く、耐倒伏性はやや劣る。</p> <p>（4）すす紋病の発生は同程度であるが、紋枯病の発生は少なく、耐病性に優れる。</p> <p>（5）乾物収量は3か年平均で102%を示す。</p>		
期待される効果	サイレージ用トウモロコシの安定生産に資する。		
普及上の注意事項			
問い合わせ先（電話番号）	畜産研究所 酪農飼料環境部（0175-64-2791）	対象地域	県下全域
発表文献等	平成19年度東北農業試験成績・計画概要集		

【根拠となった主要な試験結果】

表1 「北交65号（北交65号）」の生育特性及び収量

(平成17～19年 青森畜産研)

品種 (系統名)	年次 (年)	初期 生育	絹糸 抽出期 (月/日)	黄熟期 (月/日)	生育 日数 (日)	稈長 (cm)	着雌 穂高 (cm)	倒伏 (%)	折損 (%)	病害		乾物収量		雌穂 割合 (%)	TDN 含有 率 (%)
										すす 紋病 (%)	紋枯病 (%)	総重 (kg/10a)	標準比		
北交65号 (北交65号)	17	4.7	8/7	10/3	145	246	103	0.0	0.0	1.0	15.6	1,888	109	59.2	71.4
	18	7.0	8/5	9/25	140	234	93	0.0	0.0	1.0	10.0	1,768	98	57.4	70.9
	19	8.0	8/4	9/21	135	249	109	5.6	1.1	6.7	6.7	1,751	98	56.6	70.7
	平均	6.6	8/5	9/26	140	243	102	1.9	0.4	2.9	10.8	1,802	102	57.8	71.0
ハイオア106日 (36B08) 標準品種	17	4.3	8/7	9/27	139	227	92	0.0	0.0	1.0	20.1	1,727	100	49.2	68.8
	18	7.7	8/3	9/22	137	214	96	0.0	0.0	3.0	18.9	1,806	100	52.5	69.6
	19	7.0	8/2	9/21	135	202	94	1.1	0.0	5.3	33.3	1,779	100	47.6	71.4
	平均	6.3	8/4	9/23	137	214	94	0.4	0.0	3.1	24.1	1,771	100	56.2	70.6

- (注) 1 初期生育は9(極良)～(極不良)とする評点法による。
 2 すす紋病は被害程度と被害面積に応じて1(無)～9(甚)とする評点法による。
 3 紋枯病は罹病個体の全個体に対する割合。
 4 TDN推定式:56.0+0.26×雌穂割合。

耕種条件

項目	内容
試験圃場	畜産研究所内圃場(平成19年で連作11年目の圃場)
播種期	平成17年5月11日、平成18年5月8日、平成19年5月9日
栽植密度	7,017本/10a(畝間75cm、株間19cm)
施肥量	N-P ₂ O ₅ =10-10kg/10a、牛糞堆肥4,000kg/10a
除草法	播種後に土壌処理剤、トウモロコシの2～4葉期に茎葉処理剤を散布